

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療施設の施設整備の支援		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:佐久間 敦	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	へき地保健医療対策事業実施要綱等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	へき地医療施設、救急医療施設、周産期医療施設等の施設を整備し、医療提供体制と地域保健及び健康増進体制の連携強化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	下記の事業等について病院等の建物の整備を行う場合の経費の補助を行う。 ・へき地関係:へき地医療拠点病院、へき地診療所、過疎地域特定診療所、へき地保健指導所、離島等患者宿泊施設 ・臨床研修関係:研修医のための研修施設、臨床研修病院、研修医環境整備 ・産科:産科医療機関施設整備 ・医療計画等の推進に関する事業 ・施設環境等の改善に関する事業 ・医療従事者の養成功率の発揮に関する事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	10,362	9,325	5,380	4,278	6,176
		補正予算		▲ 766			
		繰越し等		395	638	526	
		計	10,362	8,954	6,018	4,278	6,176
	執行額	9,634	7,767	5,354			
執行率 (%)	93.0%	86.7%	89.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	へき地診療所・へき地拠点病院数		成果実績	1,326	1,279	1,343	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助件数		活動実績 (当初見込み)	件	199	193 (-)	131 (-)
単位当たりコスト	40.9 百万円/件		算出根拠	執行額 / 補助件数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	医療施設等施設整備費	406	2,692	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 2,286百万円			
	医療提供体制施設整備交付金	3,871	3,484				
計	4,278	6,176					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係では未だ多くの課題が山積していることもあり、医療施設の施設整備に対するニーズは大きく、優先度が高い。 ・都道府県間、地域間の医療格差是正の観点から、引き続き国の施策として進めていくべきものである。 ・不用については、必要に応じて理由を把握するよう努
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・単位当たりコストの削減に努めている。その水準は妥当。 ・受益者との負担関係は妥当。 ・資金の流れの中間段階は、都道府県への間接補助であるため、不合理なものではない。 ・補助対象がへき地拠点病院・へき地診療所等に対する運営費であるため、使途は事業目的に即し真に必要なものに限定される。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・代替手段がない。 ・成果目標としている「へき地拠点病院・へき地診療所数」については、へき地における医療提供体制を計る目標として適切であり、いずれも増加傾向である。 ・整備された施設は十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題であるため、引き続き、国の施策として進めていくことが必要である。</p> <p>また、予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法等について改善すべき点がある場合には、的確に予算に反映することとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>医療施設の施設整備の支援については、へき地医療施設等の建物の整備を行う場合の経費の補助を行う事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>本事業の趣旨を踏まえ、引き続き効率的な執行に努めたい。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	53	平成23年行政事業レビュー	0045

厚生労働省
5,354百万円

※補助率 1/3、1/2

【補助】

A. 都道府県 (38)
5,354百万円

事業内容
・へき地医療拠点病院等の施設整備に対する補

【補助】

B. 医療機関 (9)
392百万円 (東京都)

事業内容
・医療施設近代化施設整備事業に対する施設整備費補助

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	医療機関に対する施設整備に係る補助	989			
計		989	計		0
B.杏林大学医学部付属病院			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建設費	建物工事費	392			
計		392	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	医療機関に対する施設整備に係る補助	989		
2	福島県	医療機関に対する施設整備に係る補助	640		
3	岐阜県	医療機関に対する施設整備に係る補助	640		
4	福岡県	医療機関に対する施設整備に係る補助	530		
5	広島県	医療機関に対する施設整備に係る補助	440		
6	岩手県	医療機関に対する施設整備に係る補助	382		
7	宮城県	医療機関に対する施設整備に係る補助	318		
8	北海道	医療機関に対する施設整備に係る補助	262		
9	三重県	医療機関に対する施設整備に係る補助	170		
10	群馬県	医療機関に対する施設整備に係る補助	161		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	杏林大学医学部附属病院	医療施設近代化施設整備事業	392		
2	医療法人財団岩尾会	医療施設近代化施設整備事業	227		
3	医療法人財団厚生協会	医療施設近代化施設整備事業	153		
4	医療法人社団永生会	医療施設近代化施設整備事業	139		
5	学校法人東京医科大学	研修医のための研修施設整備事業	48		
6	財団法人東京都医療保健	研修医のための研修施設整備事業	10		
7	医療法人社団桐光会	病院群輪番制病院及び共同利用型病院施設整備事業	9		
8	学校法人 東邦大学	地域災害医療センター施設整備事業	8		
9	日本私立学校振興・共済	地域災害医療センター施設整備事業	3		